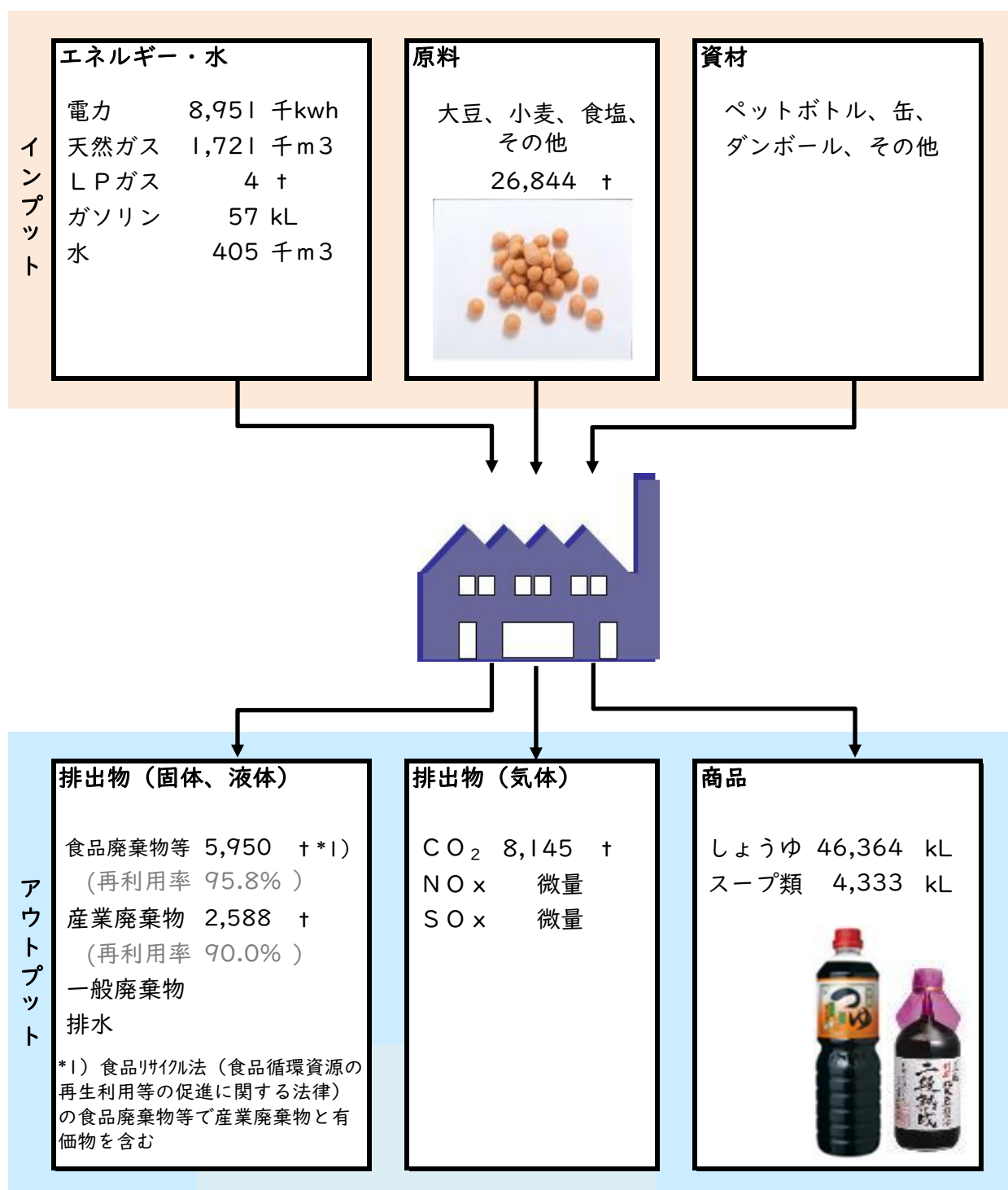


正田醤油の事業活動と環境のかかわり（2019年度）

エネルギー・資源・排出物のフロー

正田醤油では、しょうゆやスープ類を製造・販売しています。これらの事業活動においては、原材料だけでなく、エネルギー、水などを使用し、CO₂や廃棄物などを排出しています。そのため、正田醤油では開発、生産、流通といった事業活動の各段階で、これらの環境負荷を低減するように努めています。



取り組みの成果

目標と実績

		目標	実績	評価
コンプライアンスの順守	エネルギー消費原単位 目標の順守*2)	前年度比100%未満 かつ5年平均99%以下	対前年度比96.7% 5年平均で98.7%	◎
	食品廃棄物等の発生原 単位目標の順守	醤油製造業目標値 895kg/百万円	907kg/百万円	△
	食品廃棄物等の再生利 用の基準実施率の順守	98.2%	95.7%	△
廃棄物の削減と 資源の再利用	マテリアルリサイクル 率の維持・向上 (醤油協会目標)	動植物性残渣95% (うち、醤油粕、醤油油99%以上、他90%以上)	動植物性残渣100% (うち、醤油粕、醤油油100%、他97%)	◎

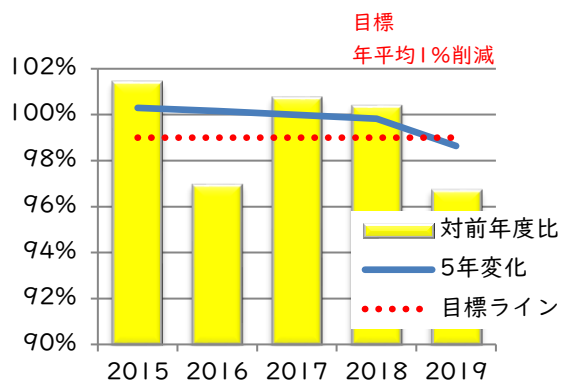
*2) エネルギー消費原単位は“エネルギー使用量”と密接な関係を持つ値で除したもののことで、エネルギー効率を表す値(詳細は省エネ法参照)。当社の場合、醤油生産量(千kl)を採用。

2019年度は、高効率ボイラーの更新や太陽光発電の導入により、エネルギー使用量を抑えられ、エネルギー消費原単位を抑えることができました。今後も引き続き、省エネ機器の導入や設備の更新等を計画し、省エネに努めて参ります。

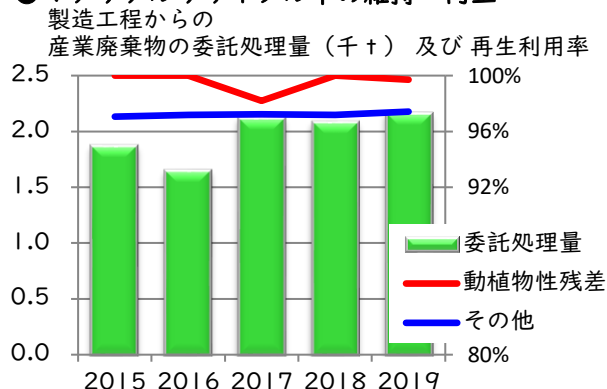
また、廃棄物の削減として、醤油粕を売却し、飼料として利用しております。例年通り、醤油粕の再生利用実施率を100%に維持することが出来たことに加え、醤油油やその他の動物性残渣につきましても、目標を達成することが出来ました。これからも廃棄物発生量の削減とより良い再生利用方法を検討して参ります。

データ

●エネルギー消費原単位(省エネ法関連)



●マテリアルリサイクル率の維持・向上



●食品廃棄物等の再生利用の基準実施率の順守(食品リサイクル法関連)

正田醤油の食品廃棄物等の発生量(千t)とその処理方法及び再生利用率

